



クルリンと ほしぞらさんぽ 8月号

夏休みは楽しいことがいっぱい！

夏休み、ほしぞらさんぽにぴったりですね。自宅の周りでもお出かけ先でも、夜に晴れそうだなと思ったら心の準備をして、ほしぞらさんぽにでかけましょう。

月の観察をしよう

夏休み中に観察しやすいもの、な～んだ？

それは月の満ち欠けと月の動き。夏の月はあまり高くない南の空を動いていきますので、秋から春までの月に比べると、月の動きを観察して勉強しやすいのです。何日か続けて観察できれば「月の動きのきまり」なんか簡単に分かってしまいますよ。そこで…

① 見る場所は？

月はどこでも見えますね。でも理科の勉強として観察するには、空が広くて東から西まで開けている場所が最高。家の近所が望ましいので、昼間のうちに近所を探検して場所を決めておきましょう。街灯がそばにないところがいいんですよ。どうしてか分かりますか？

② 何日ごろ？

今年は8月8日から20日までが適しています。夕方の、空がまだ明るいうちから月を探しておきましょう。

③ どうやって？

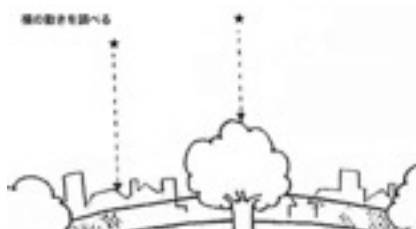
① 月はどっちに動くのかなあ？ 30分の間を
いて2回見ます。1回目には月がどちらへ動くか
予想しておきましょう。

② 図のように月の高さを調べてメモします。
まったく同じ場所に立たないと月の動きが見つかりませんよ。

同時に月から地上物に垂線を下ろしてメモしておきます。



③ それを
写真に写す工
夫をします。ス
マホでもデジカ
メでも、月の位
置が分かるよう



に気をつけて、風景写真を撮るようにしてふつうに1枚目を撮ります。1時間したらもう一度同じ角度・同じ向きで2枚目を撮ります。2枚の時間間隔かんかくは30分以上、長いほどはつきりと月の位置のちがい、つまり月の動きを写すことができます。

月の表面は？

月の表面の模様もようは望遠鏡でないと見えな
い？ そんなことはありません。8倍ぐらいの双
眼鏡でもちゃんと見えますし、双眼鏡の方があつ
かいやすいから試してみましょう。そして月面図
と比べてみて、月の代表的な地形を確認しまし
ょう。半月ぐらいが一番よく見えます。満月だと月
のクレーターの影がなくなってしまうので、きれ
いな形には見にくくなります。

晴れたら必ず月を観察しましょう。形の変化だけでなく、空のどこに見えるかも変化しますが、そのきまりが見つけられるでしょう。



夏の大三角

夏の大三角はちょっと難しい。なぜならば8月半ばの午後8時頃には、夏の大三角はほぼ天頂（頭の真上）近くにあつて、見上げるのに首がつかれ

ますし、どれがベガでどれがアルタイルか方角が難しくなります。とても見にくいので、東を向いて地面に横になって見るといいかも。でもくれぐれも車が通る道路でねっころがるのはやめてね。

8月12日の夜 ペルセウス座流星群

夏休み中に流れ星が見られたらラッキーですね。毎年8月12日にペルセウス座流星群を見ることができます。今年の極大（流れるピーク）の予報は12日の深夜ですが、あくまでも予報ですので、13日の夜も夜空を見上げましょう。夜半前には半月が

西の空にいるけれど、月明かりはそれほど明るくないので条件は悪くありません。この流星群ではかなり明るい流星が流れることもあるので、明るい伊勢原市内でも、空が開けていて、周りより暗い場所ならば、明るい流星ならば見えるでしょう。もっとも夜空が暗い場所に比べたら数は少なくなるけれど。

市内で見るときには、特に周りの安全に気をつけてね。車がたくさん通る道路で見るなんかは絶対にダメですよ。

